

進路だより

都立永福学園 肢体不自由教育部門
令和6年1月29日 発行
校長 緒方 直彦
No.5 文責 宮崎 卓矢

日頃から本校の教育に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
今回は進路学習会の報告をします。

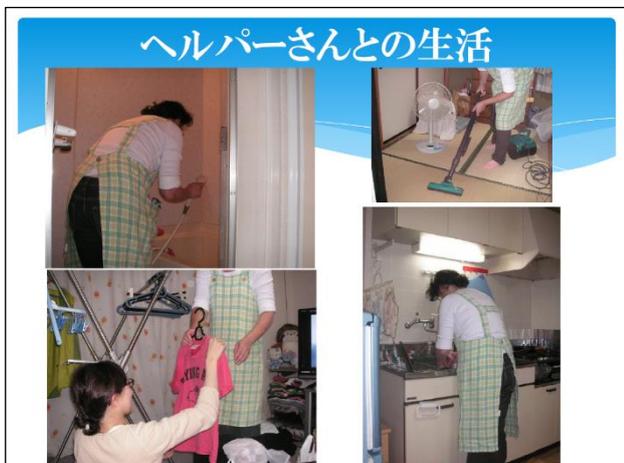


○ 進路学習会を実施しました

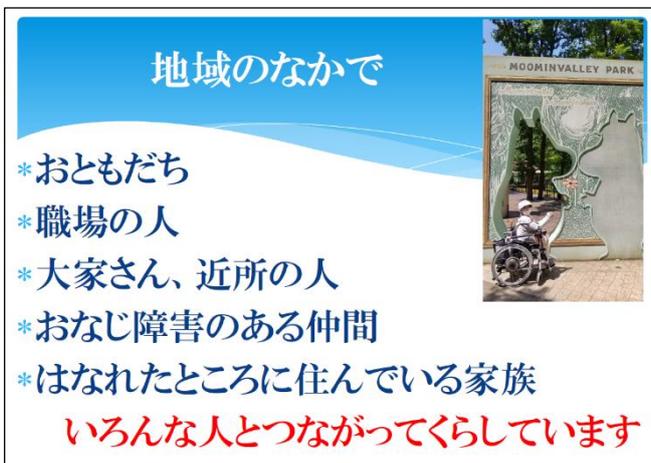
1月22日（月）に中学部・高等部生徒を対象とした学習会を実施しました。

NPO法人自立生活センター・立川の廣瀬麻美様を講師にお招きし、講演とワークショップの形式で学びました。

講演では、生活のこととして、ヘルパーさんとの生活や地域の中で、「いろいろな人とつながってくらしています」と一人暮らしの様子を教えてくださいました。



ヘルパーさんとの生活

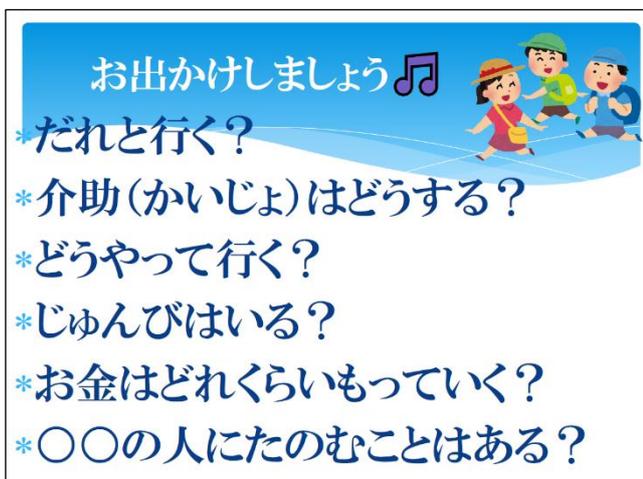


地域のなかで

- *おともだち
- *職場の人
- *大家さん、近所の人
- *おなじ障害のある仲間
- *はなれたところに住んでいる家族

いろいろな人とつながってくらしています

ワークショップでは、「お出かけしましょう」というテーマで、水族館やスーパーなどに出かける設定で、具体的に考える活動をしました。



お出かけしましょう

- *だれと行く？
- *介助(かいじょ)はどうする？
- *どうやって行く？
- *じゅんぴはいる？
- *お金はどれくらいもっていく？
- *〇〇の人にたのむことはある？

〇〇くと〇〇くと一緒に行きたい

ヘルパーさんについていってもら

駅でスロープを出してもら

生徒からは様々な意見が出てとても盛り上がりました。生徒の皆さんが友達と出かけたいという思いや、自分なりに考えていることがよく分かりました。一方で、介助、移動、

自分に必要な準備、お金の使用、配慮の依頼などは、経験の少なさが見られました。生徒自身が実際に、具体的に考えてやってみる経験を重ねることが大切だと感じました。

最後に、「自分で決めること」の大切さを学びました。例として「今日の服、好きな音楽、寝る時間」が挙げられました。18歳になると児童から成人となり本人の意思決定場面が増え、求められます。自分らしく生きるために、小学部段階から自分自身での意思決定の経験を積み上げていきましょう。